

ごてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

御殿場市二十歳の集い

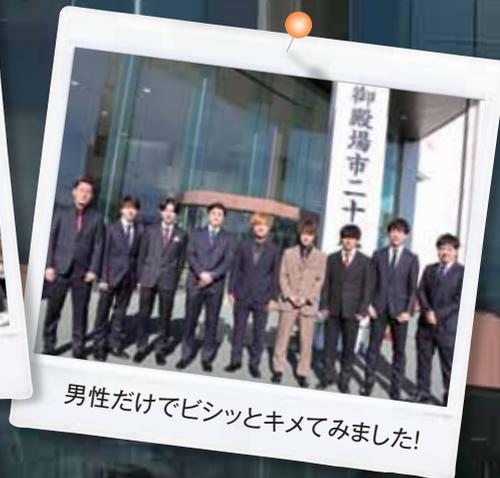
冬

第116号

2023年2月8日発行



晴姿にお母さん撮影に夢中!



男性だけでピシッとキメてみました!



緊張しましたが、良い経験が出来ました!



皆さん良い笑顔ですね!



令和5年「御殿場市二十歳の集い」を開催。輝かしい未来にはばたく市民をお祝いしました。

- | | |
|-------------------------|----------------------------------|
| ■ 議案の審議結果一覧 2 | ■ 議員研修・議会報告会 10 |
| ■ 一般質問(11人) 3~8 | ■ 行政視察報告・議会報告会 11 |
| ■ 市議会政治塾 8 | ■ Q&Aコーナー、議長日記、3月定例会予定、編集後記...12 |
| ■ 全員協議会・小学生議場見学 9 | |

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。 問い合わせ / 図書館 ☎0550-82-0391

御殿場市議会 Gotemba City Assembly

<https://www.city.gotemba.lg.jp/gikai/>

発行/御殿場市議会

編集/広報委員会 御殿場市萩原483 ☎0550-82-4323 ☎0550-82-4326



YouTube

令和4年12月定例会の
一部を録画中継します。

※インターネットへのアクセスが発生するため、
通信料がかかります。

議案の審議結果一覧

令和4年 12月定例会

【全会一致で可決等された議案】

（専決処分の承認）1件

- ・令和4年度御殿場市一般会計補正予算(第3号)について

（予算）7件

- ・令和4年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- ・令和4年度御殿場市救急医療センター特別会計補正予算(第1号)について
- ・令和4年度御殿場市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- ・令和4年度御殿場市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
- ・令和4年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)について
- ・令和4年度御殿場市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について
- ・令和4年度御殿場市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について

（条例）14件

- ・御殿場市個人情報保護に関する法律施行条例制定について
- ・御殿場市議会議員及び御殿場市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市部等設置条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- ・御殿場市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市特別職の職員で常勤のもの給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市議会の議員に対する議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例制定について

（契約）1件

- ・御殿場市立西学校給食センター備品(洗浄室厨房機器)の取得について

（その他）6件

- ・御殿場市民交流センターの指定管理者の指定について
- ・御殿場市シルバーワークプラザの指定管理者の指定について
- ・御殿場市立図書館及び御殿場市富士山市民のサロンの指定管理者の指定について
- ・市道路線の廃止について
- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の変更について

（議員提出議案）1件

- ・市長の専決事項の指定について

【賛否が分かれた議案】

○…賛成 ×…反対 ※議長(田代耕一)は採決に加わりません

議案・結果	阿久根真一	永井誠一	勝又英博	辻川公子	高木理文	中島宏明	川上秀範	高橋靖銘	菅沼芳徳	林義浩	土屋光行	本多丞次	神野義孝	田代耕一	小林恵美子	勝間田博文	杉山護	芹沢修治	黒澤佳壽子	高橋利典
令和4年度御殿場市一般会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
御殿場市債権管理条例制定について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
御殿場市議会個人情報保護条例制定について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○



コロナ禍における高齢者の健康と居場所づくりについて

問 健康指導や健康相談についての取り組みについて伺う。

答 令和4年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を開始。後期高齢者の方々の医療保険、介護保険の利用状況、検診受診状況を確認し、健康状態不明者にアンケートを実施。保健師・管理栄養士・歯科衛生士が個別に自宅訪問し健康相談・保健指導を行っている。

問 住民主体のサービスの取り組みや総合事業について。

答 高齢者が地域の人との交流を通して、生きがいを持ちながら暮らしていくため「元気になる会」や、様々な特色のある「居場所」、移動支援などの住民主体サービスが介護予防や困りごとの解決に大きな役割を果たしている。介護予防・日常生活支援総合事業では、住民主体による生活支援体制

整備事業のもと、第2層生活支援コーディネーターを配置し体制づくりを推進している。

問 地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備について伺う。

答 高齢者を対象とした「居場所」「認知症カフェ」「元気になる会」「子供を対象とした「子ども食堂」など、社会資源である住民主体の福祉活動を活かし、対象者の属性にとられない地域住民参加型の交流の場を確保。すべての世代を取り残さない社会の構築のため、居場所づくりを中心とした地域づくりを含め、包括的な支援体制の整備を検討していく。



元気になるう会

勝又市長就任一年を振り返って



問 「御殿場らしい情のある人づくり、まちづくり」「待ったなしのコロナ対策・経済対策」「選挙公約」について

答 御殿場らしい人の心の温かさ、人と人、行政と市民の心のつながり、情に基づく信頼関係の中で市民と共に歩む事が、富士山の恵み、歴史、文化や交通の利便性、大型集客施設等、他にない素晴らしい力、財産を活かしたまちづくりにつながる。

市長選当時はコロナ第5波の真只中。「市民の命とくらしを守ることに待ったなし」を緊急課題と捉え、コロナ対策と経済対策に明け暮れた一年であり、全力で全てに取り組み実現した。

これ以外の新たに取り組み充実させるとした18項目の全てを実施し、更なる推進に取り組んでいる。コシヒカリ発言など想定外の事案もあったが、若者が行政に興味

を持ち元気な姿を見られた事に、目指す将来像実現に向け夢と勇気をいただいた。やりがいある充実した一年だった。

問 一年間の総括と今後の市政への取組について

答 厳しい社会状況下、発展の土台を築く一年でもあった。SDGs未来都市実現、木育推進宣言、木製おもちゃ館整備、DXによる観光戦略、道の駅的施設整備など経済振興、スポーツタウン御殿場の推進等、各施策実現のため、戦略的組織を作り、自治体間競争を勝ち抜くべく全庁一丸となって取り組む。
コロナ禍でも徐々に市民の輝く笑顔が戻ってきた。就任一年、市民と共に頑張っていく。





マイナンバー(個人番号)制度の今後の展望と課題について

問 制度普及に対する施策、取組みと普及率について伺う。

答 今年度から、期日前投票所新設、型コナワクチン接種会場となった支所及び駅前サービスセンターで出張申請等を実施した。9月からは市役所本庁において特設の申請サポートブースを設置し、夜間延長や休日開庁を含めカード申請のお手伝いをした結果、今日(12月7日)時点で約57%と大きく増えている。

問 制度普及に対する問題点・課題について伺う。

答 マイナンバーカードの安全性についてカードを紛失したとしたり、顔写真付きのため第三者がなりすますことはできない。また、ICチップについてもプライバシー性の高い情報は記録されており、暗証番号も設定されており、暗証番号入力を一定回数

以上間違えるとロックされる。また、不正に情報を読み出そうとするとICチップが壊れる仕組みとなっている。

問 マイナンバーカードの利活用等、今後の取組みについて伺う。

答 今年度導入した「富士山GOイン」との連携をはじめ市民の皆様が保有することにより、その利便性を享受できる各種施策を進め、令和7年には「待たない、書かない、行かない行政手続き」を目指す。マイナンバーカードを市民カードとして位置づけ、図書館カードや選挙投票入場受付、高齢者タクシー助成、避難所受付など様々なサービスに向けた研究を進める。



安全で確実な水の確保について

問 水道水の日常管理体制と異常発生時の具体的対応は。

答 自動水質検査計にて常時モニタリングされており、異常が発生した時は監視装置から職員携帯へ即座に警報が入る。

問 大規模停電により地下水のくみ上げが出来ない場合は。

答 各配水池には非常用発電機が設置されている。また、各配水池を配水管でつなぐネットワークも構築されている。

問 熟練度が必要と言われる上水道職員の人材育成方法は。

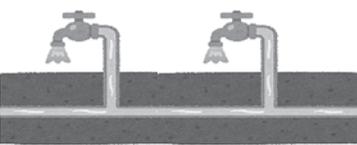
答 職場内での技術継承を行うと共に高度で専門的な業務知識、技術等を習得するために日本水道協会や県などの専門研修機関への積極的な派遣研修を行っている。

問 ここ20年間は全体の2割近くの水が漏水している状況であるが主たる要因と対策は。

答 漏水の主な要因は各戸の給水管からであり年間1000件以上発生していることから管路更新の際に給水管までの更新を行っている。また、年間100kmの漏水調査により50件程度の漏水を発見し修理を行っている。これらにより漏水割合としては大きな変化はないが漏水量全体としては年々減少している。

問 AIによる劣化診断予測システムを導入し、より効率的な管路更新計画を策定しては。

答 AIによる劣化診断予測などの最新技術については現在情報収集を行っている。それらの活用により先行した管路更新計画の策定など様々な効果があると考え、広域連携での導入の可能性も含め検討していく。






勝又英博 議員
みくりやの郷ネット

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

高根小中一貫のコミュニケーションクール導入課題と展望

問 実施内容・方法・課題・展望を伺う。

答 地域の皆で未来の子供を育てていくという思いを共有し、学校運営協議会委員の参画により、持続可能な体制を整備する。高根の魅力を発揮し、特色あるコミュニケーションスクール活動が展開されるよう推進していく。

民間活力導入(官民共創)の課題と展望

問 観光DMOの成功事例と沼津コンベンションビューローを伺う。

答 箱根DMOを成功事例とし、広域連携をさらに深め、東部地域を一体としたインバウンド誘客促進事業の展開を図る。

問 GSKの株式を民間へ売却するつもりはあるかを伺う。

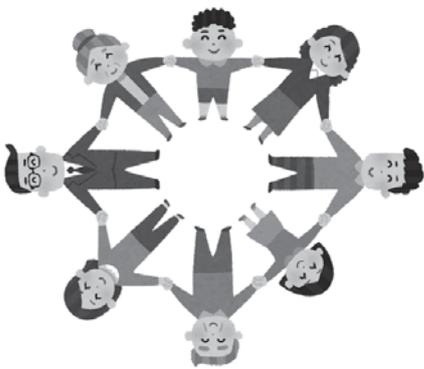
答 これまでと同様、100%保有は変更する考えはない。

問 税収増の為の企業版ふるさと納税の活用を伺う。

答 財源確保のため、市内経済を活性化するためがある。だが、観光関連の法定外目的税等は、納税者などの理解が得にくいので考えていない。

問 地元金融機関等の参画への取組を伺う。

答 北駿で地域循環共生圏の取組を進める。デジタル戦略の中で、産官学金の連携を計り、官民の枠を超えて共に創る、「官民共創」のまちづくりを目指す。



※観光DMO(観光地域づくり法人)とは魅力的な観光地として、特定の場所を宣伝する組織。



勝間田博文 議員
公明党

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

令和5年度組織改編について

問 大規模な組織改編の背景と基本方針について伺う。

答 社会経済状況が大きく変化する中、多様化する市民のニーズや、新たな行政課題に迅速かつ柔軟に対応し、更なる良質な市民サービスを提供、自治体間競争を勝ち抜くため「政策的・戦略的な推進力強化」と「庁内横断的な連携の強化」をテーマとして、3つの基本方針に基づき大幅な組織改編を行う。

- ① 部の統合削減を含む組織スリム化による行政経営の効率化
- ② 戦略監制度の拡大による政策的・戦略的推進力の強化と庁内横断的連携の強化
- ③ 各種行政課題への対応(観光経済・デジタル戦略の強化、真の子育て支援日本一など)

問 目玉となる改編事項について伺う。



窓口対応の様子

答 環境部と市民部を統合して環境市民部とし、現8部を7部体制にスリム化。経済外交戦略監に加え政策戦略監・財政戦略監を設け、自治体間競争を勝ち抜く戦略的施策推進と庁内横断的連携強化を図る。産業スポーツ部観光交流課を、現企画部から改編する企画戦略部へ移管し、施策立案を担う企画及び広報部門と一体的組織として観光戦略を強化。同じく企画戦略部にデジタル戦略課を新設し、デジタル戦略を強化。総務部に特別債権対策課を新設し、債権管理適正化を推進。真の子育て支援日本一に向け、教育委員会、新図書館建設や教育施設環境整備を担う教育施設課を新設。将来像実現に向け、新組織をフル稼働し全庁一丸で取組む。



本市の児童虐待防止対策と家庭支援サポート体制について

問 児童虐待の現況について

答 令和3年度の児童虐待に関する相談実績は1996件。内訳は、虐待969件、虐待につながるリスクのある相談1027件。本年度の相談実績は10月末時点で968件。一時保護延べ件数は令和3年度16件、本年度は10月末時点で11件ある。

問 子育てする親へのサポート・家庭支援について

答 子育てを包括支援センターママサポ御殿場を設置し定期的な連絡や、産後ケア事業等で不安感や孤立感の軽減を図っている。また、子ども家庭総合支援拠点では、具体的に家庭の困りごとを解消できるような個別事業を提案するなど、親子をサポートし、支援している。

問 本市の子ども家庭総合支援について

答 子ども家庭総合支援拠点は要保護児童対策地域協議会を内包し、国の基準に応じ虐待対応専門員兼要保護児童対策調整員等6名を配置している。

問 関係機関との連携・協力体制について

答 要保護児童・要支援児童へ適切な支援を図るため詳細な情報交換・共有を行っている。

問 今後の取り組みについて

答 引き続き地域との取り組みや関係機関との連携を行う。加えて子ども家庭総合支援拠点の充実、令和6年度から設置する国の制度としての子ども家庭センター構想に取り組み。



※厚生労働省HPより



米軍の訓練に伴う危険な空中給油問題について

向上、実効的な対処態勢の確保のため不可欠であり、各種の安全対策を講じ従来から実施している。(中略)東富士演習場において訓練中の米軍機支援の必要性から空中給油を行った。」との回答があった。防衛省として、米軍機の運用にあたり、安全面に最大限配慮し、地域住民に与える影響を最小限に留めるよう米側に対し引き続き求めていくと説明された。

問 正確な情報開示と周辺地域住民に危険をもたらす空中給油の中止を国に求めていただきたい。見解を伺う。

答 国に対し引き続き正確な情報提供を求めていく。米軍及び自衛隊の航空機の訓練には、国の責任で安全対策に万全を期すことを要請している。

問 この経緯はいつ、どのようなルートで入手されたのか。

答 12月1日に防衛省関係者が来庁し、口頭で説明した。

問 その内容について伺う。

答 米側から「空中給油については、在日米軍の運用上の柔軟性



※「山梨県上空での米軍機の空中給油。11月29日 甲府市の福田良二さん撮影」



仕事に生かす学び直しについて



神野 義孝 議員
新政

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

社会に出た個人がニーズに合わせて再び教育を受けるリカレント教育、DXに対応できるようデジタル技術を学び直す*リスキングへの関心が高まっている。

問 本市の仕事に生かす学び直しに資する施策は。

答 情報提供のほか、駿東地域職業訓練センターでは、仕事に生かす学び直しに資する各種講座・講習を開催している。

問 職業訓練センターの活動状況は。

答 地域の産業構造を考慮して、工業系の資格取得や講習会を増やしてきた経緯があり、講座内容は多岐に渡っている。

問 訓練センター講座等への助成の状況は。

答 会員は非会員よりも1講座あたり1000円〜2000



駿東地域職業訓練センターにおける学び直し

※リカレント教育…社会に出た後、一時的に職を離れて再び教育を受けること
※リスキング…企業が新しく必要となる業務等に対応できるよう、社員に知識やスキルを習得させること。

円安く料金設定している。

問 訓練センターの企業ニーズの把握は。

答 各講座等の終了後のアンケート調査、理事会及び総会での意見把握のほか、役員による企画会議を開催し、開設する講座等の内容を検討している。

問 教育訓練給付金の活用状況は。

答 受講費用の20%から70%が支給され、本市でも毎月数件の利用者がいる。

問 学び直しを推進する施策は。

答 市のホームページへの情報掲載や関係機関と連携し相談体制の充実に取り組み。教育訓練給付金の追加支援は、まずは対象講座への指定を目指すとともに検討していきたい。

魅力と活力に溢れる御殿場づくりに向けた取り組みについて



本多 丞次 議員
市民21

YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

問 人口規模維持、拡大に向けた当市の取り組みは。

答 新しい働き方に対応する住宅供給として、空き家活用等支援事業で改修等支援を実施している。また市街化調整区域における地区計画適用基本方針を策定し、民間の発意による適切な土地利用を進めていく。その他首都圏から移住して中小企業等就労する世帯に100万円、単身世帯に60万円を支給する地方創生移住支援事業を実施。

問 結婚や子育て等の支援については。

答 出会いの場を創出し結婚を後押しする御殿場でのゴルフ婚活イベントを実施した。また、経済的理由で結婚に踏み切れない方に新生活に必要な引っ越し費用、家賃補助制度の準備を進めている。

問 人口規模維持、拡大に向けた将来像については。

答 御殿場市、裾野市、小山町の新たな富士山麓圏域「富士共生圏」で環境先端企業、研究機関、官公庁の誘致を積極的に行い、国内外から注目される、子供たちが誇れる御殿場の将来像、人口規模拡大、活力あふれる御殿場市につなげる。

出産に関しては産後ケア事業を実施しているが医療機関での短期入所型支援などを拡大している。真の子育て支援日本一の取り組みとして、成人まで切れ目ないすべてのステージの支援に一層取り組んでいく。





公立図書館と教育委員会の役割及び新図書館等整備事業について

複合文化施設とし新設される図書館が、真に市民の拠り所として、また御殿場市の未来への礎となることを願い以下伺う。

問 公立図書館の使命・機能と教育委員会の今までの取り組みについて伺う。

答 図書館法第3条が規定する図書館奉仕の使命に基づき、レファレンスを中心とした諸機能を可能な限り発揮して取り組んできた。

問 新図書館等整備事業への経緯と目指す図書館像、また設計業者選定をプロポーザル方式にした理由を伺う。

答 現図書館の限界性が明確な中で平成28年度からの庁内検討会を進め、それ以降も関係機関による基本構想懇話会、更には幅広い世代の市民によるワークショップ等



令和8年4月開館予定で複合文化施設として建設される新図書館(イメージ)

※プロポーザル方式…業務を委託する上で、最も適した提案者を選定する方式

を展開し、郷土愛や知と心が交流する施設を目指した。またこれらを始め、市民の期待へ最大限に応えられる事業者選定方法として、プロポーザル方式を採用した。

問 指定管理者による管理・運営となるが、そこでの課題にどう対応していくのか。

答 図書館法等を中心とし、関係法令・規則・ガイドライン等の運用を徹底し対応する。

問 日本一の図書館を目指す市長の考えを伺う。

答 市のあらゆる持続・発展は御殿場らしい人づくりにかかっている。その拠点として、市民と共に築く唯一無二の素晴らしい複合的図書館にしたい。

市議会政治塾

第2回 御殿場市議会政治塾を11月22日に開催しました。

選挙権のある市民に対し、議会や行政に関心を持ってもらい、議員のなり手不足の解消に向けた短期的な事業として開催しました。
議会や議員の役割、議員になるための選挙等実務的な内容の説明の後、参加者と議員によるディスカッションを実施しました。



令和4年 市議会全員協議会の報告

～全員協議会の件目から見る議会のうごき～

令和4年は5回開催し、19件を協議しました。

第1回 1月19日

- ・令和3年度御殿場市財政計画について
- ・第四次御殿場市総合計画後期基本計画実施計画(令和4～6年度)の策定について

第2回 2月14日

- ・御殿場市観光戦略プランの策定について
- ・新図書館等整備事業における「基本計画及び基本・実施設計業務委託」の受注者の決定について
- ・市議会三常任委員会委員の選任について
- ・市議会関係役職等の内選について
- ・市議会議会運営委員会委員の内選について
- ・市議会広報委員会委員の内選について

第3回 4月19日

- ・男女共同参画計画「第5次レインボープラン御殿場」の策定について
- ・御殿場市市民協働型まちづくり推進プランの改定について
- ・第四次御殿場市地域福祉計画の策定について

第4回 5月19日

- ・御殿場市再エネ導入目標の策定について
- ・第二次御殿場市環境基本計画の中間見直しについて

第5回 11月15日

- ・教育支援センター事業について
- ・令和4年度御殿場市財政計画について
- ・第四次御殿場市総合計画後期基本計画実施計画(令和5～7年度)について
- ・令和5年度組織機構改編について
- ・地方公務員の定年引上げへの対応について
- ・御殿場市立図書館等整備基本計画の策定について

全員協議会とは?

市政及び議会の重要事項に関し、協議または調整を行うための場」として設置しています。

(御殿場市
議会会議規則
第166条)



9月9、18日に行われた、
神山小学校、富士岡小学校議場見学の様子です。

議場見学

富士岡小学校



富士岡小学校の児童の皆さん!

神山小学校



神山小学校の児童の皆さん!

11月11日に議員研修を行いました

第27回2市1町議員研修会が11月11日に行われました。研修内容は「改正個人情報保護法の概要と特色」「住民目線でのまちづくりに向けた活用のポイントと課題」今後とも積極的に議員研修を行っていきます。



静岡大学サステナビリティセンター 坂倉美奈子教授の講義

議会の活動状況を分かりやすく市民に報告し、市民との活発な意見交換を行うため、各委員会ごとに報告テーマを定め、実施しました。

議会報告会

総務委員会

実施日：令和4年12月6日(火)

場所：御殿場市役所東館 会議室

テーマ：「自主防災組織のランクアップ取り組みについて」

参加者数：55名

(区長会へ報告) 「自主防災組織のランクアップ取り組みについて」

12月6日(火)、御殿場市議会が市民の信頼と付託に応え、議会と市民との連携を図るべく御殿場市内59区自治会長に対し、議会報告会を開いた。

委員会は令和4年度テーマを「人口の増える街づくり」とし、その大前提にある「安全安心のまちづくり(防災力の充実)」を重視し活動(視察)してきた事を説明した。

まず、防災力の充実に当たり、「自助」「共助」「公助」の意義を説明し、「共助」の重要性を再認識していただき、「共助」の中心組織となる自主防災組織に関し、「自主防災組織のランクアップ取り組み(防災力の均一化)」を図る小松市



の視察状況を報告・紹介した。説明後、5グループに分かれそれぞれの各地区に応じた自主防災会の格差・活性化について担当委員を交え意見交換を実施した。

意見交換会では「防災活動を指導けん引する人材不足」このため「防災士育成講座」などもあるが市民に浸透していない。また「各役員等が1年交代のため継続性に欠ける」などの指摘もあり、更に「昼夜に活動できる防災組織の必要性及び「女性の自主防災関連役員等への参画も重要などの意見が出た。

総務委員会は、この度区長会から出された指摘・意見を再度考察・検討し、当局(危機管理課)へ報告・提言することとし、議会報告会を終了した。

総務委員長 中島 宏明

※フインクルーシブ保育・社会及び保育士支援事業について

今期の当委員会の研究テーマに沿って実施した先進地への視察内容について以下報告する。

①別府市青山保育所「インクルーシブ保育」

戦後から先進的にインクルーシブ保育に取り組んできたことから、現在でも医療的ケア児を除き障がい、国籍等を問わず全ての子どもを受け皿となっている。行政側からの人件費補助は保育士不足解消や障がい児受け入れのためにも必須であり、また施設側の職員の働き方改善やインフラ整備も必要であると改めて認識した。別府市では障がい児を保育する施設に対し一人につき2万円／月の補助あり。

②別府市太陽の家「インクルーシブ社会」

障がい者に対し「保護より働く機会を」という理念の下に設立された本施設では、職場や日常生活において障がい者が不自由なく暮らせるよう工夫、整備されており、まさに共生社会の実現が図られていた。また、今後のIT化やリモート化

の推進は移動が苦手な障がい者にとつても就労の機会が増えていくことになり大きく期待されている。

③由布市大分市における様々な保育士支援事業

資格を持たない者を雇用し保育士のサポートを行う事業。保育士の宿舎を借り上げるための費用を助成する事業。医療的ケア児のための看護師派遣など国、県の補助を使い地域の実状に合った施策が講じられており、いずれも今後の委員会としての提言活動へ資する視察となった。

福祉文教委員長 阿久根 真一



議会報告会

議会の活動状況を分かりやすく市民に報告し、市民との活発な意見交換を行うため、各委員会ごとに報告テーマを定め、実施しました。

福祉文教委員会

実施日：令和4年12月3日(土)

場所：御殿場市役所東館 会議室

テーマ：「障がいの有無に関わらず全ての子どもを受け入れるインクルーシブ保育に向けて」

参加者数：34名



※インクルーシブ保育…子どもの年齢・国籍・障がいの有無の違いを全て受け入れ、全ての子どもが共に育ち、共に学ぶ保育を指す。

「障がいの有無に関わらず全ての子どもを受け入れるインクルーシブ保育に向けて」

報告会の概要

今回は、インクルーシブ保育に対する理解をより広げることも必要と考え、施設側管理者や職員ではなくできる限り保護者代表者の出席をお願いしたところ半数以上の施設から保護者の出席をいただけたため施設側、保護者側の両視点から様々な意見を聴くことが出来た。

インクルーシブ保育の推進にあたり出された主な意見

(人)保育士不足の解消及びインクルーシブ保育に対応するための人員確保、職員の能力把握とスキルアップ、フレキシブルな人事異動、研修会の開催など

(物)障がい児を受け入れるためのインフラ整備(フリースペースや駐車場など)、施設内のバリアフリー化、翻訳機やインクルーシブ保育に対する教材・遊具の整備など

(資金)人を確保するための人件費(給与水準アップ含む)、環境整備費、教材費、障がい児受け入れに対する施設への補助金制度の活用

まとめ

本テーマについては国内では、まだまだ認知度が低く、今後は地域の方からも理解を得られるよう醸成を図っていかなければならない。また、この政策に対する市の方針の変化は、今後の施設運営への影響が非常に大きいものとなるため、現場の状況をしっかりと把握しつつ慎重に進めていかなければならないと考える。

福祉文教委員長 阿久根 真一



議長日記



1月8日に「御殿場市二十歳の集い」が開催されました。当該年度に20歳を迎える市民を対象にした式典です。

本市の未来を担う皆さんが、心身ともに健やかに成長された姿を拝見し、心からお慶びを申し上げます。霊峰富士のとも夢に向かつていただき、人に寄り添う思いやりを大きく育てていただきたいと願っています。御殿場市議会も全力で皆さんを応援していきます。

御殿場市議会議長 田代耕一



議名Q&Aコーナー

シリーズ第28回

●今回のテーマ 「二元代表制」にんじん？



二元代表制（首長制）とは

自治体の首長と議会がそれぞれ住民の直接選挙によって選出され、ともに代表機関とされる仕組み。

※「首長制」ともいう。一種の「大統領制」だが、議院内閣制の必要素も導入

- 1 ◎直接公選による住民意思
- 【二元代表制の理由】

の反映と民主的な自治体運営

◎議会と首長の相互けん制／抑制と均衡の原理（チェック＆バランス）議会に野党的機能を期待（機関対立主義）

◎首長と議会の間適切な緊張関係が存在することで、二元代表制が適切に機能

2 議会から独立した長による計画的効率的な行政運営

3月 定例会の予定

3月定例会は2月21日から3月23日までの32日間です。時間はいずれも午前10時からです。

23(木)	10(金)	9(木)	7(火)	6(月)	3(金)	24(金)	22(水)	21(火)
付託議案 追加議案等審議採決	5年度当初予算質疑	5年度当初予算質疑	一般質問	一般質問	代表質問	5年度当初予算説明	5年度当初予算説明	市長施政方針提案理由説明 補正予算条例等審議

* いずれの日も傍聴することができますが、新型コロナウイルス等の感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

* 当日、市役所東館3階の議会事務局で受け付けをしております。



編集後記

議会は、ウイズコロナの中で市民の皆さまから意見を聞く広聴機能の強化に取り組んでいます。

議会報告会では、年間研究テーマについて関係者の皆さまから意見聴取をして意見を反映できるように今後の対応を検討しています。

議会傍聴者のアンケートも行い、内容を広報委員会をはじめ議員間等で共有を図っています。

また、広報委員会では、議会報告会を更に発展させた議会カフェについても取り組んでまいります。市民の皆さまと議員が、リラックスした雰囲気の中でテーマを決めて話し合い、貴重な意見を市政に反映するものです。

今後も、市民の皆さまに身近な開かれた、議会を目指してまいります。

広報委員会 副委員長 神野義孝

御殿場市議会広報委員会

- 委員長 浩孝 一子 文明 範子 護
- 委員 義誠 公理 宏秀 美恵
- 委員長 野井川 木島 上林 山
- 副委員長 神永 辻高 中川 小杉

ご意見ご質問は議会事務局へ 〒412-8601 御殿場市萩原 483

Tel.0550-82-4323 Fax.0550-82-4326



市議会だよりには再生紙を使用しています。
印刷／(株)御殿場印刷所

